

「大学・高専連携事業基金」事業
第13回 グローバル・コミュニケーション・プログラム(GCP)
参加学生募集要項

1 目的

国際的に活躍できる人材の輩出を目指し、2大学1高専（東京都立大学（以下、「都立大」という。）、東京都立産業技術大学院大学（以下、「産技大」という。）及び東京都立産業技術高等専門学校（以下、「高専」という。））の学生が、所属や年齢が異なるメンバーでチームを編成し、共通の課題に取り組むことで課題解決力（人間力）や英語を含むコミュニケーション能力を身に付けながら、国際的な感覚を養うことを目的とする。

2 プログラム概要

グローバルビジネスに関連したテーマを題材とし、リーダーの明確なリーダーシップのもと調査研究、仮説設定・検証を行い、課題に対する提言を行う。

参加学生は、本プログラムを通じてグループワーク、英語研修、国内及び海外でのフィールドワーク、海外学生との協働による調査や交流等を行い、国際感覚溢れる実践的な課題解決力（人間力）を身に付けるとともに、英語を含むコミュニケーション能力の向上を図る。

3 求める人材

- （1）チームで協調しながら自ら主体的に課題に取り組める学生
- （2）海外での多様な体験を通して国際的な感覚を養うことに意欲的な学生

4 対象者

（1）推薦募集

第1～4学年（募集時の学年）で過去IEPに参加しすべての課程を修了した者。（レポートを提出、最終報告会で発表、修了証を取得した者）

（2）一般募集

第1～4学年（募集時の学年）

※ただし、過去にGCPに参加したことのある者、授業料未納者は除く。

※第5学年及び専攻科生については、この募集要項ではなく、「第13回グローバル・コミュニケーション・プログラムチームリーダー募集要項」を参照のこと。

5 募集人員

- （1）、（2）合計30名（大学生、大学院生とともに6名程度からなるチームを編成する。）

6 実施時期及び期間

- （1）国内におけるプログラム：2025年3月～2025年11月
- （2）海外におけるプログラム：2025年8月下旬から9月上旬中の9日間程度

7 海外における現地活動プログラム実施場所

シンガポール共和国

8 プログラム実施内容（予定）

（１）国内におけるプログラム【事前学習】

ア 課題学習

- ・下記についてチーム毎にテーマを設定、調査・研究の実施、仮説の立案
- ・国内フィールドワーク（テーマに関連する企業などへのインタビュー等）
- ・各チーム合同による課題学習の中間発表、有識者による講義受講、国内合宿 等
- ・各チームの進捗確認等を全体で実施

国際的人財育成のためのグローバルビジネス研究プロジェクト
ー世界に羽ばたく国際人へのジャイアントステップー

高専生メンバー数名と都立大生・産技大生・高専専攻科生のいずれかのリーダーとでグループを作り、アジアの同年代の学生や国内外の企業等の協力を得て、世界共通の課題について調査研究し、世の中のニーズに応えられる製品やサービスなどの新しいアイディアによる解決策の提案を行う。

- ・詳細に関しては、別紙１を参照すること。
- ・チーム毎の調査テーマは、プログラム開始時に、リーダーが中心となって設定する。

【参考】 過去のグローバル・コミュニケーション・プログラム調査テーマ

「女性のキャリアと育児の両立」、「睡眠から変える、人間能力」

「30年後の社会で活躍するグローバルエンジニアになるために一経験学習サイクルによる高専生の素養を伸ばし続ける方法の提案」

「多文化トラスの形成～つながり合って自然災害に強い体制をつくろう～」

「PRIDE REVOLUTION～中高生の同性愛者の孤独感を軽減するためには～」

「自転車利用者に捧げる新たな雨対策の創出」

イ 英語学習（コミュニケーション能力向上研修、プレゼンテーション研修等）

- ・英会話の練習を目的とした研修（１回）
- ・コミュニケーション能力向上研修（週１回 計１２回程度予定 変更の可能性あり）
※チームメンバー（高専本科生）は、研修支援会社の設置する各教室または本校にて
対面受講、自宅等からのオンライン受講のいずれかの方法で実施する。
- ・プレゼンテーション研修（１日間程度、８月実施予定）
※チーム毎の受講とする予定

ウ TOEIC、RIASEC コンピテンシー測定テスト受験（4月に受験予定）

（2）海外におけるプログラム

ア 課題学習

・海外フィールドワーク（テーマに関連するインタビュー等）

イ 英語による現地学生との協働調査・交流・合同プレゼンテーション

ウ 日系海外企業の事業調査

（3）国内におけるプログラム【事後学習】

ア 報告書の作成、最終報告会の実施

イ プレゼンテーション研修（2日間程度、9～10月実施予定）

ウ TOEIC、RIASEC コンピテンシー測定テスト受験（9月に受験予定）

（4）スケジュール（予定）

			全体スケジュール	課題学習	英語学習
2025	3月	事前学習			○英会話研修
	4月		○オリエンテーション ○TOEIC、RIASEC 受験 ○全体研修①	○テーマ設定 ○個人目標設定 ○現状の把握 ○課題の把握・分析、解決策の検討 ○仮説の立案	○コミュニケーション能力向上（チームメンバー：研修支援会社が設置する各教室または本校にて対面受講、自宅等からのオンライン受講いずれかを予定）（週1回 計12回程度）
	5月		○全体研修②	○中間報告におけるプレゼンテーション準備	
	6月		○国内合宿（全体研修③） 都内での合宿、3日間程度	○国内フィールドワークの実施 ○プレゼンテーション準備及びフィールドワーク準備等	
	7月		○中間報告会 ○全体研修（予備日）	○進捗確認等	
	8月	事前学習・海外学習	○全体研修④～⑤ ○渡航前説明会 ○プレゼン研修①	○課題の検証（フィールドワーク） ○英語によるプレゼンテーション ○現地学生交流 ○企業調査	○英語プレゼンテーション準備（1日程度）チーム毎に受講予定
	9月	海外学習・事後学習	○海外派遣 ○プレゼン研修②	○中間報告会および海外学習での指摘や調査を踏まえ内容の精査	○英語プレゼンテーション準備（1日程度）チーム毎に受講予定
	10月		○全体研修⑥～⑦ ○TOEIC、RIASEC 受験 ○プレゼン研修③ ○最終報告会		○英語プレゼンテーション準備（1日程度）チーム毎に受講予定
	11月		○全体研修⑧		

※全体スケジュールおよび英語学習は全員参加とする。

※課題学習は、原則としてチーム学習を基本とする。

9 経費負担

研修経費の負担は以下のとおりとする。なお、負担経費の確定は2025年度の本プログラム実施予算が決定する2025年4月1日以降とする。

(1) 参加者個人負担分は(2)以外の諸経費とする。

<例>

- ア 国内及び海外プログラム(上記8参照)においてフィールドワークを実施した際やチームごとに自主活動を行った際に発生する交通費及び食事代
- イ 国内合宿参加中の交通費及び食事代
- ウ パスポート申請手数料
- エ 海外旅行保険料(個人用)
- オ その他個人で支出する費用

(2) 東京都公立大学法人負担分

- ア 海外プログラムに係る渡航費及び宿泊費
- イ 国内及び海外プログラムに係る研修受講料
- ウ 英語学習に係る研修受講料・テキスト代
- エ TOEIC、RIASEC 受験料
- オ 国内合宿に係る宿泊費
- カ 国内及び海外プログラムの実施に係る諸経費
- キ 研修参加時の往復交通費(支給上限あり)

10 出願

(1) 出願書類

- ア **【様式1】** グローバル・コミュニケーション・プログラム参加申込書兼承諾書
- イ **【様式2】** 小論文

※ **【様式1】** **【様式2】** は、横書きで記入すること。ワードファイルで作成でも可。
ワードファイルで作成する場合、文字サイズの目安は**【様式2】**を参照すること。
(**【様式1】** **【様式2】** は本校HP (<https://www.metro-cit.ac.jp/>) からダウンロード可能)。

- ウ TOEIC スコア原本の写し(任意)

※ 2022年12月以降に受験したものに限る。

- エ 2024年度の国際交流ルーム(GCO)のポイントカードの写し(任意)

※ 2024年度より、電子登録制のため、提出する場合は申込書にチェックを入れてください。

(2) 出願方法

上記(1)の出願書類を、所属キャンパスの管理課教務学生係へ指定の方法で提出する。

※ 4(1) 推薦募集で出願する者は、**【様式2】** 推薦制度小論文を、(2) 一般募集で出願する者は、**【様式2】** 一般小論文を、(1)(2)両方で出願する者は、**【様式2】** 推薦制度小論文・**【様式2】** 一般小論文の両方を提出すること。

(3) 提出期限

2024年12月12日(木) 13時厳守

1.1 選考

(1) 選考方法

- ・小論文及び面接
- ・TOEIC スコア及び本校に設置している国際交流ルーム(GCO)の利用ポイントも参照し評価に含める。

(2) 面接の実施

2024年12月22日(日)に実施する。

時間・場所については別途指示する。なお、定められた面接実施日に欠席した者は応募辞退とみなす。

(3) 参加学生の決定方法

小論文、面接、TOEIC スコア及び国際交流ルーム(GCO)の利用ポイントなどの結果を総合的に判断し、プログラム参加学生を決定する。

1.3 結果の通知

2025年1月15日(水) 予定

通知方法については別途連絡する。可否に関わらず、応募者全員に選考結果を通知する。

1.3 応募書類に記載された個人情報の利用について

応募により提供された個人情報は、選考及び本プログラム実施の目的以外には使用しない。

1.4 特記事項

- (1) 海外におけるプログラム実施前に、戦争、テロ、自然災害、感染症等が発生した場合、派遣を延期または中止することがある。また、派遣中に同様の事態となった場合においても、帰国の勧告又は命令を行うことがある。

1.5 その他

- (1) 全体スケジュールに掲載されているものについては、原則として全員参加すること。参加にあたっては、前回プログラムスケジュール(参考資料)を確認の上、申込を検討すること。欠席の状況によっては今後のプログラムへの参加を取り消す場合がある。
- (2) 本プログラムを通じて、TOEICスコア400点以上の取得を目標とする。
- (3) 本プログラムを参加途中で自己都合により辞退した場合、9 経費負担(2) 東京都公立大学法人負担分に記載した経費の一部もしくは全部(往復海外航空券代金及び宿泊費用の全額、また研修参加時の往復交通費等)を負担させる場合がある。
- (4) 本プログラムを受講した者は、その経験を活かし、次年度以降の国際化事業に協力すること。

(5) プログラムの活動は、写真・動画等で撮影され、後日に公開されるため、予め留意すること。

1 6 問合せ先

高専品川キャンパス管理課教務学生係 (電話：03－3471－6331)

高専荒川キャンパス管理課教務学生係 (電話：03－3801－0145)

＜プログラムのねらい＞

国際的人財育成のためのグローバルビジネス研究プロジェクト ー世界に羽ばたく国際人へのジャイアントステップー

これからのビジネスには、世界に開かれた国際的な視野が必要であると言われています。そのためには英語などの語学だけでなく、各国特有の文化、習慣、理念など、様々なバックグラウンドを理解することに加えて、海外で自信を持って物怖じせず最初の大きな一歩（ジャイアントステップ）を踏み出すことができる勇気も必要です。

このプロジェクトは、アジアの同年代の学生や国内外の企業等の協力を得て、世界共通の課題（例：環境問題や資源不足、渋滞問題、高齢化社会など）について調査研究し、世の中のニーズに応えられる製品やサービスなどの新しいアイデアによる解決策の提案を行うものです。高校・短大に相当する若い高専生のメンバーと、彼らをリードする都立大生・産技大生・高専専攻科生とでグループを作り、リーダーを中心とするチームで活動します。

本プロジェクトでは、背景の異なる学生がチームを組み、さらに渡航先国となるアジアの学生とも交流しながら調査研究を行うことで、英語を含むコミュニケーション能力のほか、リーダーはグループをリードするためのリーダーシップやマネジメントスキル等を、メンバーはグループの目標達成のために自分がどのような役割を果たすべきかを考え、リーダーをフォローしグループに貢献すること等を実践的に学ぶことができます。多様性のある環境の中で、時には意見を衝突させ、涙と汗を流しながらお互いが目標を共有し、個々の強みや特性を活かして協力しながらチームワークの力で進めて行くことは、現在、グローバルに事業を展開する企業においては必須であり、本プロジェクトでの経験は参加学生にとって貴重な経験となり自信につながるでしょう。また、海外でのフィールドワーク先となるアジアの国では数多くの刺激を得られるはずです。

本プロジェクトを通じて、参加学生が将来、国際人として活躍するための知識と経験を身に付け、大きな一歩（ジャイアントステップ）を踏み出すことを期待しています。

受検番号

【様式1】

グローバル・コミュニケーション・プログラム参加申込書兼承諾書

東京都立産業技術高等専門学校 校長殿

私は

1、個人情報を、本プログラムの実施に必要な範囲内で本学が指定する委託業者、宿泊先、運送機関、
その他第三者に提供されること

上記に同意の上でグローバル・コミュニケーション・プログラムへの参加を申し込みます。

学生番号／学修番号 _____

学生氏名 _____

私は応募にあたり募集要項の内容を確認しました ☐ (チェックを入れてください)

(以下保護者記入欄)

学生が応募するにあたり募集要項の内容を確認しました ☐ (チェックを入れてください)

私は、保護者として上記申し込みを承諾します。

保護者氏名 _____

第 13 回

グローバル・コミュニケーション・プログラム (GCP)

小論文

（IEP 参加者推薦制度）

- 本科第 _____ 学年 _____ コース (組) _____
- 学生番号または学修番号 _____
- 学生氏名 _____
- I E P 参加年度 西暦 _____ 年度 _____
- 2022 年 12 月以降に受検した TOEIC スコア _____

いずれかに丸をつけて、提出する場合はスコアを記入してください。

☐ 提出する • ☒ 提出しない

- 2024 年度の GCO ポイント累計

いずれかに丸をつけてください。

提出する ・ 提出しない

- 生年月日 西曆 年 月 日

(満 歳: 2024 年 12 月 31 日現在)

- 住所 _____

- 携帯電話番号

- 高専 Gmail アドレス

① インターナショナル・エデュケーション・プログラム（IEP）への参加によって得たことは何ですか。

② IEP で得たことを、GCP でどの様に活かしていきたいと思っていますか。また、GCP に参加することによって、何を得たいと思っていますか。

第 13 回

グローバル・コミュニケーション・プログラム (GCP)

小論文

- 本科第 学年 コース（組）
- 学生番号または学修番号
- 学生氏名
- 2022 年 12 月以降に受検した TOEIC スコア

いずれかに丸をつけて、提出する場合はスコアを記入してください。

☒ 提出する ・ ☐ 提出しない

- 2024 年度の GCO ポイント累計

いずれかに丸をつけてください。

提出する ・ 提出しない

- 生年月日 西曆 年 月 日

(満 歳： 2024 年 12 月 31 日現在)

- 住所 _____

- 携帯電話番号

- 高専 Gmail アドレス

- ① グローバル・コミュニケーション・プログラムへ参加を希望する理由を300字以上で記入してください。
(300字の目安；MS 明朝 12ポイント×27字×12行以上)

- ② 現在、自分自身の国際化(外国情勢の学習、英語学習、海外渡航、外国語を話す友人との交流など)について何か活動を行っていますか？または活動を始めようと思っていますか？300字以上で記入してください。
(300字の目安；MS 明朝 12ポイント×27字×12行以上)

受検番号

【様式 2】

③ 本プログラムへ参加して、学んだことを今後どのように活かしたいかについて、300 字以上で記入してください。

(300 字の目安 ; MS 明朝 12 ポイント×27 字×12 行以上)